

会報



第185号

発行者
社会福祉法人
長野市身体障害者福祉協会
理事長 小林和夫
〒380-0904
長野市大字鶴賀276-10
(長野市障害者福祉センター内)
電話 228-3014
フакシ 226-6263

第49回 長野市身体障害者福祉大会 盛大に開催される

第49回長野市身体障害者福祉大会は、10月7日長野市障害者福祉センターで、会員83名が参加し、盛大に開催されました。

午前の部では、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長橋本光明氏と当協会副理事長北村忠三さんのお二人による、「県信濃美術館改築と障害者の美術鑑賞・美術活動について」の対談があり、その後、橋本氏により「東山魁夷の人と作品」と題して講演がありました。

午後は、小林治晴長野市議会議長はじめ6名の来賓にご臨席を賜り、式典が盛大に執り行われました。式典では、表彰状の贈呈、来賓祝辞、前年度大会決議事項の処理報告に続き、大会決議、大会宣言の承認が行われました。

理事長表彰受賞者

☆自立更生し模範会員である者 (敬称略)

轟 伯子 (若穂支部) (1名)

☆重度障害者の妻を助けた方

他の模範である者 (1名)
金澤 次男 (古牧支部)

大会スローガン

- ◎ 障害者差別解消法の理解を深める啓発に力を入れよう
- ◎ 災害時の障害者支援体制を確立させよう
- ◎ 行政のユニバーサルデザイン対応の組織化を促そう

大会決議

一 障害者総合支援法の見直しにより平成30年度から障害を持つ高齢者がこれまでの障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行するが、利用しやすいように利用者負担の軽減など、より有効な施策の実施を要望する。

一 ユニバーサルデザインのまちづくりは、公共施設等の計画的なバリアフリー化及び民間施設に対する啓発促進等、より具体的、かつ無駄のない効率的な計画を策定し、着実に実行されるよう強く要望する。

- (1) 公共道路・歩道、バス車両と停留所、電車車両とホームの段差解消の具体化
- (2) 地域集会所等新改築、既存不適格建物のバリアフリー化の指導促進

一 市障害者福祉センター利用者の安全確保及び利便性向上のため、計画的な施設改修を要望する。

以上決議する。

平成29年10月7日

第49回 長野市身体障害者福祉大会



△理事長あいさつ▽



△対談▽



△理事長表彰受賞者▽

大会宣言

障害者権利条約は、平成26年1月に批准書を寄託し、日本も締約国となりました。この批准から2年が経過し、障害者関連法制の集大成である「障害者差別解消法」が平成28年度から完全施行され、障害者への差別禁止や合理的配慮が求められました。

この条約の批准や関連法制の整備は、ゴールではなくさらに前に向かっての新たな一歩でもあります。

これからも、障害者福祉を取り巻く環境の変化に対応すべく、各種計画の進捗状況や課題等を確認しながら、

ら、今後の障害者関連のあらゆる分野の施策が着実に実行されるよう注視し、県身障協会や日身連等と連携して関係機関等へ働きかけを行ってまいります。

この地域が、障害の有無にかかわらず、個人の尊厳を尊重し認め合い、等しく暮らすことができる共生社会の実現に向け、私たちは一致団結して行動することを誓いここに宣言します。

平成29年10月7日

第49回 長野市身体障害者

福祉大会

第68回 長野県 身体障害者福祉大会

第68回長野県身体障害者福祉大会は、8月30日に上田市交流文化芸術センター「サントミューゼ」で開催されました。

県内各地から約600人が参加し、当協会からは、41名の会員の皆様に参加されました。

第1部の講演会では、「元気で長生きするための100歳食入門」と題して、食文化史研究家永山久夫氏

から、キーワード「胡豆魚梅参茶」について、お話しを聞きました。

第2部の

式典では、表彰状の贈呈、大会決議・大会宣言の承認が行われました。

なお、当協会が理事長表彰を受賞された方は、次のとおりです。(敬称略)



理事長表彰を受賞して

若穂支部 轟 伯子

この度、第49回長野市身体障害者福祉大会において、多数のご来賓並びに会員の皆様のご参集の中、理事長表彰に浴することとなり、この上ない光栄と感謝申し上げます。この受賞は決して自分一人の力での受賞だとは思っておりません。

地域の多くの諸先輩並びに関係の皆様、そして会員の皆様のご指導とご協力そして家族の励ましに支えられた賜物と深く感謝をしております。

今後はこの受賞を励みとし、表彰に恥じぬよう努め、地域及び協会事業への積極的参加に努める所存です。最後になりましたが、長野市身体障害者福祉協会の益々のご繁栄と関係各位のご多幸をお祈りいたします。

☆重度障害の夫を助けた妻で

他の模範である者

内田 つぎ子 (古牧支部)
増尾 よ志子 (古牧支部)

☆重度障害の妻を助けた夫で

他の模範である者

渡邊 彰三 (朝陽支部)

講演を聴講して

理事 村松 和子

信濃美術館館長橋本光明さんと副理事長北村忠三さんの対談、それに続く講演は、私の目から多くのウロコを落としてくれました。

障害者手帳提示で、入館料が無料もしくは半額ほどになることは、周知の事実ですが、ほかにも「障害者鑑賞の日」を設けている館もあります。当日券を買う場合も、障害者の列に並べるようになっていて、長時間立っていないで済むような配慮も知りました。ゆっくり見るには、車椅子を借りるのも一手。「月に一回美術館鑑賞を一年間続けてみては」という提案は、さっそく取り入れてみようと思います。

橋本館長の「東山魁夷の人と作品」という講演では、魁夷の作品とその時代、作品が生まれるまでの過程など、興味深いお話が続き、思わず身を乗り出して聞き入りました。信濃美術館はこれから改築に入りますが、次はどんな風に生まれ変わるのか、それも楽しみです。時を止めてもっとお聞きしたい講演でした。感謝いたします。

企画運営委員会だより

企画運営委員会は、社会福祉法人

長野市身体障害者福祉協会の持続可能な運営と会員相互の連携を密にして、福祉の増進に寄与することを目的として、これからの社会福祉法人として協会がその役割や責任をしっかりと果たしていくための運営について検討を行うことから設置されました。

この委員会は、本年6月15日から新たに選任された理事及び顧問、相談役の合計9名で構成されています。委員会では、当面の諸問題等について検討を行い、これからの協会の発展及び会員等障害者の福祉増進を図る運営をどのように進めたらよいか議論を深めていきます。

また、委員会では、より具体的に議論し提案を取りまとめの上、協会の執行機関である理事会に報告提案し、さらには決議機関である評議員会で承認をいただきながら、可能なものから順次進めてまいります。

会員の皆様からのご意見やご要望も随時お聞きしてまいりますので、ご遠慮なくお申し出いただきますようお願いいたします。

企画運営委員会として

委員長 西澤 忠信

ご案内のように、社会福祉法人の制度改革に伴い当協会も役員改正期に合わせ、理事会の運営を充実させるため、理事会の補助機関として企画運営委員会を設置し、第一回企画運営委員会を8月1日に開催しました。

取り組み課題として、まずは、会員に対するアンケート調査を行い、その中から課題を抽出し、順次検討を重ね理事会への報告、年間六回の委員開催により、より良い会の運営のために努力していくこととしました。

会員の皆様には、いろいろな角度からのご意見ご要望、また、ご提案を戴き所期の目的達成に努力したいと思っておりますので、更なるご理解ご協力をお願い致します。



投稿 〈俳句〉

浅川支部 田中 重美

秋茄子に紫紺の重さを感じけり
吊し柿甘き匂ひや軒の下
信濃には大海なくも鯛雲

青年部活動報告

青年部長 須藤 今朝信

青年部では毎年、会員相互の親睦を深めることを目的にマレットゴルフ大会・ニュースポーツを、大きな声で楽しく歌うことを目的に歌声広場などの行事を実施しています。

今年の役員親睦旅行は、9月6日にリフト付きバスに乗り、佐久市内の「ぴんころ地蔵尊」を参拝し、「健康で元気で寝込まず大往生できるように」と祈願してきました。

お昼はすぐ近くの佐久鯉専門店「花月」で、美味しい鯉料理を満喫し今年も元気で過ごせそうです。

午後は小諸市内のワイナリーで試飲のワインを沢山飲み、ほろ酔い気分、今後の活動について話し合い。「女性部員の活発的な受け入れを！」との意見もあり今後の課題です。

今後も、部員の増員と楽しく過ごせる行事を実施していきます。

青年部への入部をお待ちしています。



マレットゴルフ大会開催

雨天のため延期となっていたマレットゴルフ大会(主催:青年部)は、9月27日、犀川第二運動場(飯綱コース)で、28名の選手が参加し開催されました。



ホールインワンが出るなど、爽やかな秋風のもと、盛り上がった大会となりました。

▲競技結果▼

18ホールの部

- 優勝 牛澤 英夫 (信州新町支部)
- 準優勝 増尾 斎 (古牧支部)
- 第3位 村田 常松 (古牧支部)

9ホールの部

- 優勝 羽田 良江 (大豆島支部)
- 準優勝 大屋 善二 (松代支部)

ホールインワン賞

義家 順一 (若穂支部)

川中島支部だより

川中島支部長 宮崎 治夫

私たち川中島支部は会員59名で、定期総会をはじめ「春・秋のふれあいの旅」を川中島地区社会福祉協議会と合同で開催し会員の親睦を図っています。

また5月の長野市スポーツ大会においては各種種目に支部として参加し、順位を競い優勝の常連として日々活動し、障害者の自立と社会参加の促進、福祉の向上を推進し、住みやすい社会の実現を目指して川中島地域で活動しております。

さらに川中島支部では、支部長・副支部長・会計・理事・監事を中心に会員の皆様と親睦や融和を図りながら、様々な活動を行っています。障害者手帳をお持ちの方はお気軽に是非ご参加頂ければ感謝です。

そして10月に開催される福祉大会には、会員が参加して、障害者の福祉向上や暮らしやすいまちづくりを進めるために開催されています。

各地域の障害者支部組織の事業活動は、会員が高齢化し減少する傾向が続く、新たな会員の入会が少なく会の組織維持・運営が大変厳しい現

状が続いております。

これまでの支部独自の活動はもとより、上部団体と連携・強化を図り、市など公的機関のほか、各方面に対し障害者の厳しい状況を認識していただき障害者の生活水準を高める運動を進めていきたいと考えております。

障害者手帳の交付を受けた時点から様々な障害者福祉サービスの恩恵に浴します。手帳の交付を機に是非、是非各支部障害者協会に入会され、支部の方々と新たな出会いを求めてみて頂ければ感謝でございます。多くの障害者手帳をお持ちの方々のご入会を心よりお待ちしております。



芹田地区周辺の「猫面瓦」散歩12 〜西風間の巻〜

芹田支部 相原 文哉

大豆島小学校の西の道路・菅平線を北西へと300mほど行くと西風間地籍となり、信号機のある十字路を左折（西方）、細い道を進むとすぐ風間神社の前へと出ます。

神社の手前約50mの所で左（南）

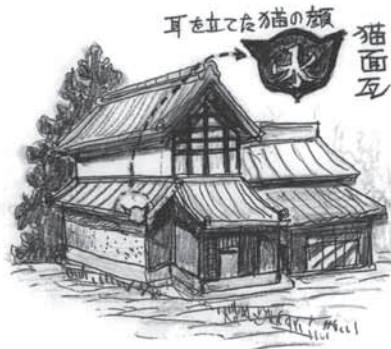
側に、住宅への入り口となる私道があり、そこを入ると裏庭広場と建物（母屋と倉）があります。

その瓦葺の古い建物は、庇があるお倉風となっております。

西側には寄棟造り、鉄板葺（元はカヤ葺）の母屋が隣接している典型的な古民家の一つです。

東側に設けられた庇の棟先端に「猫面瓦」が一箇だけありました。本来は四方の棟の先端にあったでしょう。

小屋内部をネズミから守るべき眼みをかかしていたはずですが、表面に「水」の文字が線刻されていますので「防火」の願いも託されているのです。



猫面瓦
耳を立てた猫の顔
北側地全景
四つある猫面瓦は現在は一つだけ。

行事予定

- ◆第2回健康教室
：11/9(木) 10:00～ 障害者福祉センター
(参加申込 10/31までに、支部長または事務局へ。弁当付き。)
- ◆支部長会（重度障害者慰問品配布等）
：11/9(木) 14:00～ 障害者福祉センター
- ◆クリスマス会：12/10(日) 障害者福祉センター
- ◆新春のつどい：1/11(木) メルパルク長野、会費 3,000円
(参加申込 12/19までに、事務局へ)

編集後記

会報「幸わせ」は身障協会の顔であり、会員の情報交換の受信のみならず発信提供の場でもあります。魅力ある協会の発展のため、会員同士の苦労や不安、努力の活動や成果等を、積極的に寄稿されるようお願いいたします。

編集委員長 北村 忠三
編集委員 丸山 勝
編集委員 中村 邦雄